

東京大学
教授 長谷川修司 様

拝啓

先日は、大学訪問で大変お世話になりました。ありがとうございました。生徒たちに感想を聞きましたところ、「楽しかった」「わかりやすかった」「興味を持った」「進路選択の参考になった」「勉強しようという意欲が高まった」…などの感想が数多く聞かれました。代表生徒の感想文を原文のまま紹介いたします。

講義の前は、自らの専門知識の不足を危惧していましたが、先生が、わかりやすく、広い分野での説明を下さったお陰で、短い時間で知見を広げることができました。最も興味を持った話は、トランジスターについてです。1956年にノーベル賞を獲得した3人はもちろんのこと、2000年のノーベル賞の内容である集積回路のお陰で、現在の私たちが扱うコンピュータが存在するのだという事実は、物理学と情報学に興味を持つ私にとって、非常に刺激的な内容でした。私は今まで、コンピュータの表面的な理解しかなく、その回路や構造など、考えるにも至りませんでした。そして、私の質問に答えて下さった先生の「テクノロジーは廃れるが、サイエンスは廃れない」という言葉は、今でも私の頭の中で反響し続けています。そして、その他にも、原子の構造や人工結晶の可能性など、万物の基である粒子の説明を受けるにつれ、私の心の中で、より強い知識欲を駆り立てる衝動が起り、1つ1つの話に、ここには書ききれないほどの感動が生まれました。

これまで、技術者としての道を歩もうとしていた私ですが、今回の講義を受け、新しい可能性や選択肢が生まれたことを実感しています。実用化こそされていないものの、新しい可能性を秘めた発見が世界で次々と生まれていることを知り、今の自分の知識の向上に、益々精を出したいと考えています。

さらに、研究室を見ることができて感動している生徒が多かったことも印象的でした。我々教員側が意図した以上の成果が得られたと感じております。本当にありがとうございました。

なお、本校校長より礼状を預かっておりますので同封いたします。また、来年以降もお願いに上がるかと思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

敬具